

# NAVIGATION

— 進路指導部便り —

第 15 号 平成 29 年 9 月 4 日

## 70 回生センター試験まであと 131 日!

夢野台高等学校  
進路指導部

兵庫教育大学が 平成 31 年度入試（現在の高校 2 年生が受験）から、兵庫教育大学  
選抜方法を変更 が入学者選抜の方法を変更します。大きな変更点は、入試日程による定員の変更、推薦入試でのセンター試験必要科目数が 3 教科 3 科目（以上）になったこと、個別学力試験・前期日程での面接の実施、センター試験配点の変更などです。

### 現在の 2 年生から適用される兵教大入試概要

項目	推薦	前期日程	後期日程
定員（割合）	50 人（31.25 %）	80 人（50.0 %）	30 人（18.75 %）
センター試験	3 教科 3 科目 （国語・英語 + α）	5 教科 7 科目	5 教科 7 科目
個別試験	面接	面接、小論文	面接、口頭試問、実技
志望理由書	800 字以内	800 字以内	800 字以内
センター試験配点	550 点	950 点	950 点
面接	個人面接 300 点	集団面接 240 点	個人面接 300 点 （口頭試問・実技を含む）
小論文	なし	360 点	なし
合計点（満点）	850 点	1550 点	1250 点
センター試験比率	64.7 %	61.3 %	76.0 %
一言で言うと・・・	人物重視	バランス重視	得意分野・学力重視

**現行入試との違い** 現在の 3 年生が受験する現行の入試方法との主な違いは、次のとおりです。

- ①推薦入試の定員が 8 人減少、後期日程の定員が 8 人増加。
- ②推薦入試でのセンター試験必要科目数が「5 教科 7 科目以上」から「3 教科 3 科目」（国語・英語 + 1 教科）以上に。
- ③前期日程の個別試験で集団面接を実施。
- ④前期日程試験で個別試験の比重がやや増加。

本校生徒の中で教員養成系大学・学部を目指している人にとって、兵庫教育大学は真っ先に出てくる志望校の一つでしょう。現在の 1 年生、2 年生で教員養成系大学・学部を志望している人は、上記の変更も参考にして、志望校の選定を進めてください。

なお、この変更についての正式な発表は、10 月以降の兵庫教育大学のホームページに掲載される予定です。

**本年度指定校推薦の概要** 平成 30 年度指定校推薦（現在の 3 年生・70 回生が対象。以下の内容は、大学・短大について）の概要をお知らせします。

### 本年度指定校推薦一覧（一部抜粋）

大学名	学部名	人数
関西学院	文	3
	法	2
	経済	1
	商	1
	総合政策	1
	理工	8
関西	教育（*）	2
	商	2
	社会安全	1
	社会	2
同志社	総合情報	1
	理工	1
	生命医科	2
甲南	文化情報	1
	文	3
	理工	3
	経営	2
	経済	1
	知能情報	1
	マネジメント創造	2
フロンティアサイエンス	1	
武庫川女子	文	1
	生活環境	2
	薬	2
	音楽	2
神戸女学院	文	1
	人間科学	
神戸薬科	薬	1

大学もあります。

**校内選考を経て決定** 指定校推薦では、大学が示した評定平均等の基準に基づいて、希望者を対象にした校内選考を実施し、最終的には学校長が推薦する人を決定します。推薦が決定すれば入願・受験の辞退、合格後の入学辞退はいつでもできません。

なお、70 回生が該当する平成 30 年度指定校推薦について、保護者の皆様にご承知おきいただきたいことがらを、この裏面に掲載しました（3 年生のみ）。よくお読みいただき、ご希望の場合は所定の手続きをしていただきますよう、ご案内いたします。

平成 30 年度、本校は全国 71 の大学、16 の短期大学から指定校としての指定を受けました。左表はその一部抜粋です。

（\*左表の関西学院大学教育学部は、本校教職類型に 3 年間在籍した生徒が対象）

### 人気 3 大学で指定数が減少

難関とされる同志社、関西、関西学院の 3 大学からの指定数が、昨年に比べて減少しています。減少したのは、同志社大学商学部、関西大学システム理工学部、関西学院大学理工学部です。どの高校を指定するかは、毎年、それぞれの大学・学部が独自の基準で決定します。したがって、今年はあった枠が来年なくなったり、なかった枠が増えたり、ということは珍しいことではありません。現在の 1 年生、2 年生にあっては、くれぐれも「指定校推薦にかける」などということが、ないようにしてください。

### 入学後の学力不足が課題に

大学によっては、AO 入試や指定校推薦での入学者の成績不振、留年、退学等の比率の高さが問題になっています。これらはいずれも、「〇〇大学なら学部はどこでもよい」、「とにかく早く決めたい」、「受験勉強が大変」等々の理由で指定校推薦を考えた結果によるものでしょう。これは、大学入学後のみならず、大学卒業後も見据えた長期的なキャリア形成という視点に立ったとき、憂慮すべき現実です。そのこともあって、指定校推薦での入学者の大学での成績を、出身高校に通知する

